

成年後見業務 事例のご紹介

「SKサポート沼津」との連携

静岡県にお住まいのTさんの実姉が亡くなられ、そのご主人（東京都内の施設に居住）の判断能力が低下しているため、成年後見による対応が必要であるのではないかとことから、取引のある沼津信用金庫に相談を持ち掛けたところ、同信金の関連会社である「一般社団法人しんきん成年後見サポート沼津（SKサポート沼津）」に取り次がれ、SKサポート沼津から私どもSKサポートに問合せがありました。

そこで、SKサポートでは、相談されたTさんとの面談や電話等により何回か連絡を取り合いながら、Tさんを申立人、SKサポートを後見人とする法定後見の申立書類の作成を司法書士に依頼しました。

その結果、弁護士が後見監督人となったものの、法定後見を受任することとなりました。

こうしたSKサポート間の連携による成年後見への対応が、今後も継続的に実現できるよう取組んでまいります。

「SKサポート沼津（SKN）」のご紹介

2015年1月に設立しました私どもSKサポートの業務内容を参考にして、静岡県の沼津信用金庫（沼津市中心に静岡県内に30店舗）が主体となって地域の社会福祉法人とともに2017年5月に設立した一般社団法人で、沼津市内に本部機能のある事務所を構えた後、静岡県御殿場市内にも事業所も開設し、法定後見をメイン業務として各種の成年後見業務を展開しています。

2023年7月末現在における業務実績（累計）につきましては、「法定後見の受任：56件」「任意後見契約の受任：48件」「死後事務委任契約の受任：46件」「遺言書の遺言執行者指定：54件」と順調に伸展しています。



介護認定が好転

金銭の管理ができなくなったため、品川区長の申立により「補助類型」としてSKサポートが受任した90歳を超えた「Oさん」。

受任した当初は自宅マンションに一人で居住し、徒歩で自宅近隣の施設で暮らしている姉に会いに行くのを楽しみにしていましたが、姉の死を契機に気力を無くしたのか、シルバーカーを押しての歩行も困難になってきました。そこで、SKサポートでは自宅での一人での居住は危険であるとして、「Oさん」に満足していただけたような施設を見つけて、移り住んでいただきました。

その後SKサポートでは、「Oさん」の自宅の整理や郵便物の回収等を行うとともに、体調等を確認するために施設を定期的に訪問しておりましたところ、当該施設の環境が「Oさん」に合っていたのでしょうか、自力で歩行することもできるようになり、生活状況も前向きになり、介護認定の結果「要介護1」から「要支援2」に好転しました。

こんなこともありました

脳腫瘍で寝たきりとなったため、品川区長の申立により「後見類型」としてSKサポートが受任した当時72歳の「Sさん」。

「Sさん」は受任した当初から入院中で会話も一切できない病状。各種支払のための金融資産が少なく、体調面から自己所有の自宅に戻れる可能性もないことから、後見監督人を通して家庭裁判所に「居住用不動産処分の申立」を行いました。

SKサポートでは、家庭裁判所から「売却許可の審判」が下りるまでに自宅を売却する前提で自宅に保管してある重要物件の探索を行いましたところ、拳銃と金庫内に散弾銃の弾丸を発見したため警察に連絡しました。

間もなく、私どもSKサポートの事務所に警察官が来訪されたので発見時の状況説明を行い、その後警察官が「Sさん」の自宅に出向いて拳銃と散弾銃を確認した結果、拳銃はモデルガンと判明し、散弾銃は本物であったため、警察から紹介された業者に引き取ってもらいました。

業務の状況

SKサポートの業務は着実に伸展しています

累計件数（各月末）		2023年 9月	2023年 6月
法定後見受任		41	40
類型	後見	30	29
	保佐	6	6
	補助	5	5
任意後見契約（後见人指定）		150	138
種類	見守り業務	2	2
	委任業務	8	8
	任意後見業務	1	1

累計件数（各月末）		2023年 9月	2023年 6月
遺言執行者指定		579	530
遺言執行終了		51	50
死後事務委任契約		67	65
死後事務終了		14	13
家族信託契約書作成支援		541	502

（補正後の計数を使用）

